

令和7年度 白岡市 高齢者等実態調査結果報告

第6回白岡市介護保険等運営協議会

令和8年6月1日

調査概要

1) 調査の目的：「白岡市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定にあたり、地域での高齢者の生活実態や介護サービスに対するニーズ等を把握することによって、本市における課題及び計画期間内の目指すべき介護サービスの方向性を検討する基礎資料とするため。

2) 調査の内容：

調査名	対象者	対象件数	調査方法	調査期間
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	令和7年12月1日現在で65歳以上の市民（要介護1～5の認定を受けていない方から無作為抽出）	1,500件	サンプル調査・郵送・無記名	令和7年12月10日～令和8年1月27日
②在宅介護実態調査	40歳以上の市の介護保険被保険者で、令和7年12月1日現在、要支援・要介護に認定され、在宅で過ごしている方	1,800件		
③施設サービス利用者調査	市の介護保険被保険者で、令和7年11月に介護保険施設に入所していた方	385件		
④サービス提供事業者調査	市内のサービス事業者	52件	全数調査・原則WEB・記名式	令和7年11月21日～令和8年1月16日
⑤ケアマネジャー調査	市内の居宅介護支援事業所のケアマネジャー	42件	全数調査・原則WEB・無記名	令和7年11月21日～12月26日

回収結果

調査名	発送数	有効 回答数	回収率	備考
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,500票	1,154票	76.9%	
②在宅介護実態調査	1,783票	914票	51.3%	
③施設サービス利用者調査	374票	209票	55.9%	
④サービス提供事業者調査	52票	36票	69.2%	紙での回答 1 件
⑤ケアマネジャー調査	42票	35票	83.3%	すべてWEB回答

調査結果のまとめ

外出する際に不便を感じること

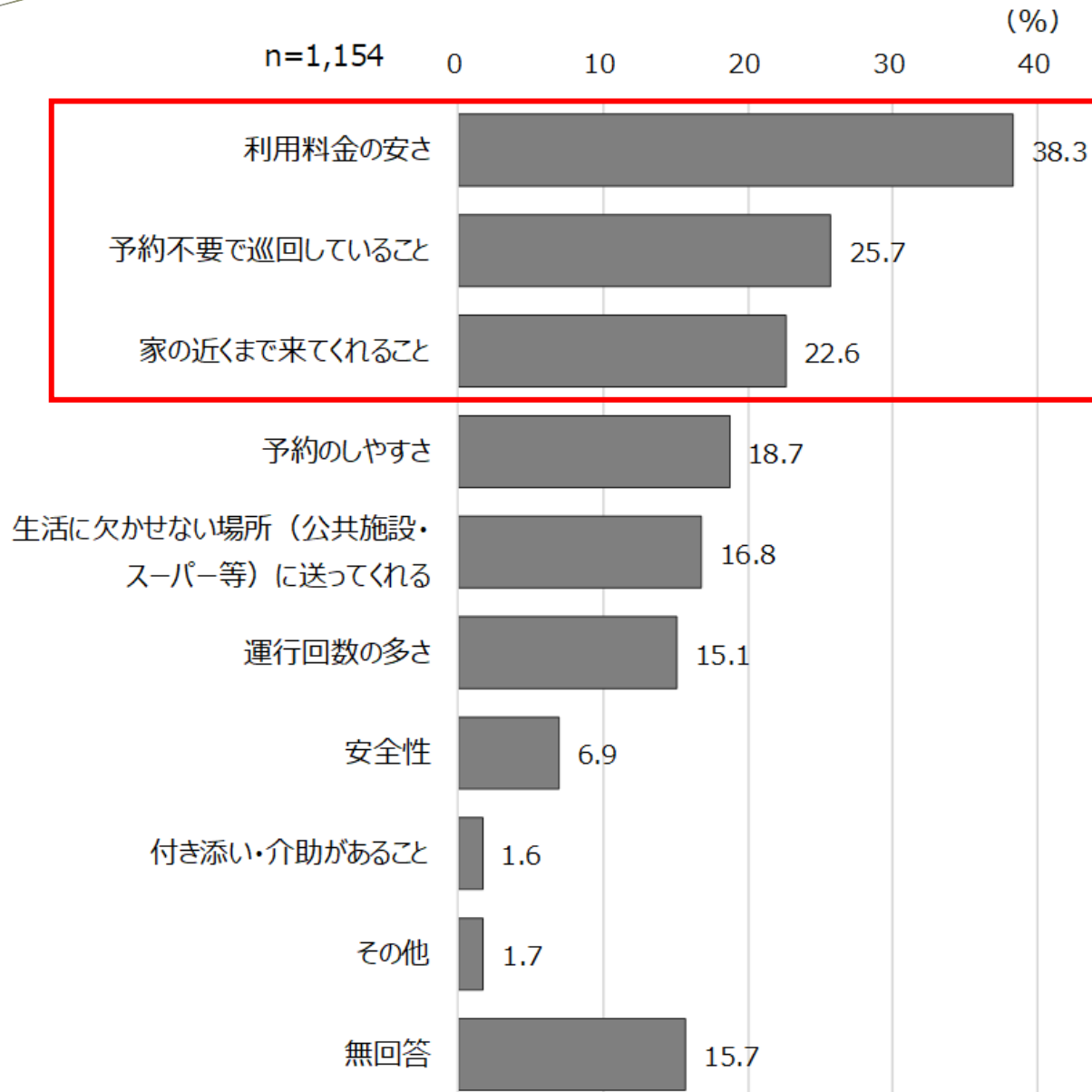
(%)

		特に不便はない	交通手段が少ない	運賃・利用料金が 高い	乗降や移動の際の 身体的負担が大きい	運転免許返納してから、 外出が難しくなった、	その他	無回答
全体(n=1,154)		56.3	25.2	13.7	7.2	5.8	4.8	3.6
性別	男性(n=537)	63.3	20.1	12.3	4.8	5.6	3.7	3.0
	女性(n=603)	50.6	30.0	14.8	9.0	6.0	5.6	4.1
年齢別	65～74歳(n=432)	68.5	18.5	11.8	3.7	0.7	4.2	2.1
	75～84歳(n=572)	51.0	28.7	14.7	7.2	7.7	5.8	3.5
	85歳以上(n=136)	40.4	33.1	15.4	17.6	14.7	2.2	8.8

問：外出する際に不便を感じることは次のうちどれですか。 [あてはまるものすべてに○]
【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】(P31)

- 4人に1人が、外出する際に交通手段が少なく不便を感じている。
- 特に、女性や85歳以上の高齢者は、3割以上が、移動手段が少ないことを不便に感じている。

移動支援サービスを利用する際に重視する点



問：移動支援サービスを利用する際に重視する点は何ですか。[○は2つまで]
【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】(P34)

□ 移動支援サービスを利用する際に重視する点の上位3位は、

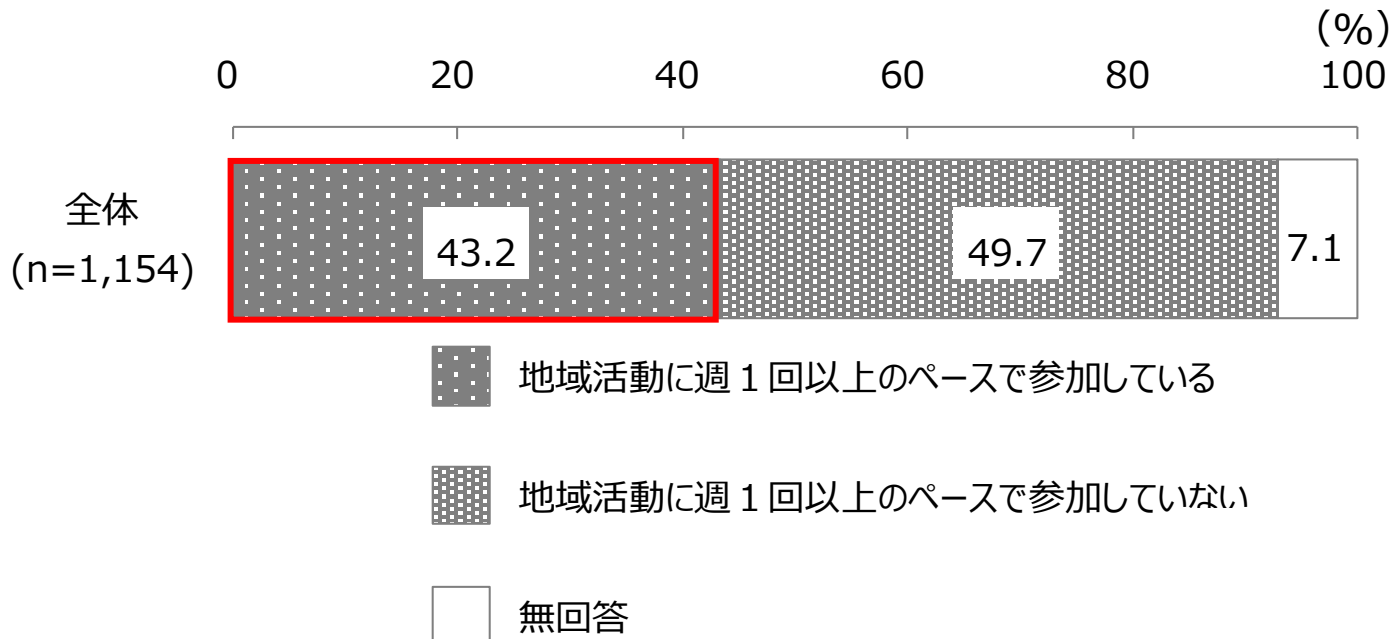
「利用料金の安さ」
「予約不要で巡回していること」
「家の近くまで来てくれること」

社会参加について

問：以下の①～⑧の会・グループなど、「何かしらの地域活動に週 1 回以上のペースで参加している高齢者の割合」
(社会参加率)

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】(P52)

- | | |
|------------------|---------------|
| ①ボランティアのグループ | ⑤介護予防のための通いの場 |
| ②スポーツ関係のグループやクラブ | ⑥老人クラブ |
| ③趣味関係のグループ | ⑦行政区・町内会・自治会 |
| ④学習・教養サークル | ⑧収入のある仕事 |



□ 仕事や会・グループなどの地域活動に、週 1 回以上のペースで参加している高齢者の割合が 4 割半ばに留まっている。



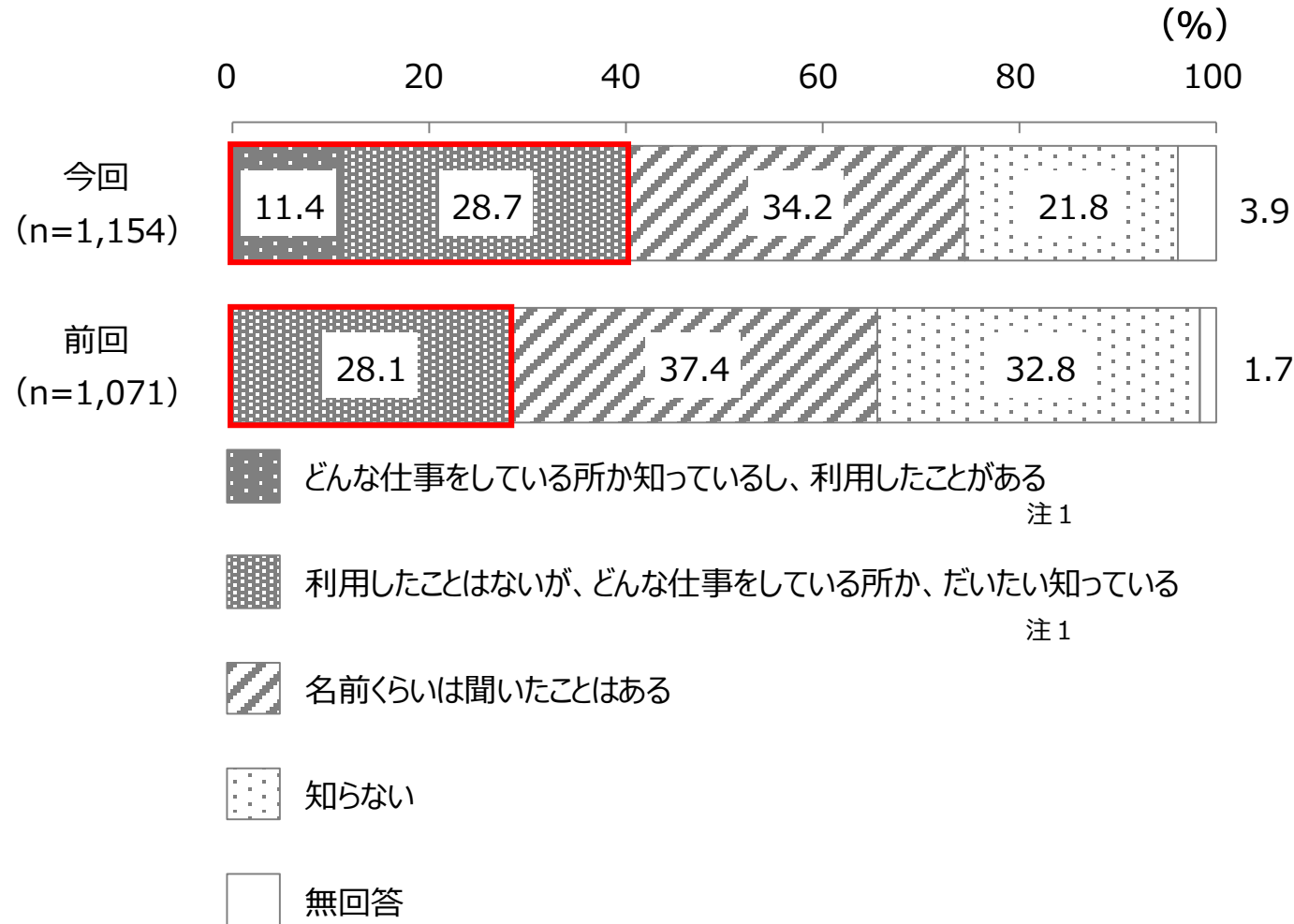
地域活動に参加していない主な理由の上位 3 位は、

「興味・関心がない」
「他の用事で忙しい」
「友人・知人がいない」

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】(P53)

地域包括支援センターの認知度

問：高齢者介護や介護予防などについて総合的に対応し、さまざまな相談に応じる窓口として、「地域包括支援センター」が設置されています。あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。[1 つに○] 【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】(P87)



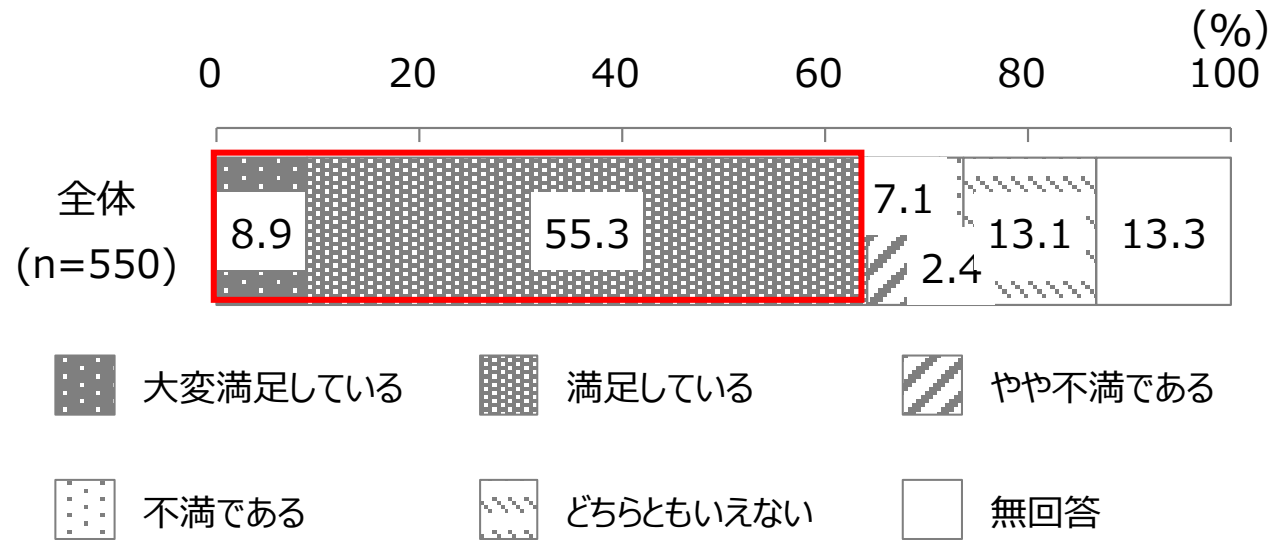
注 1：前回調査の選択肢は、「どんな仕事をしている所かは、だいたい知っている」。

- 利用の有無に関わらず、「どんな仕事をしている所か（だいたい）知っている」割合は、4割に留まっている。
- 一方で、前回調査（選択肢は一部異なる）と比較すると、「どんな仕事をしている所か（だいたい）知っている」割合は、12.0ポイント多く、地域包括支援センターを知っている割合が増えている。

介護保険サービスの満足度・利用してよかったこと

問：[令和7年11月の1か月の間に、介護保険サービスを利用したことがあると回答した人へ伺います。]

総合的にみて、介護保険サービスを利用してどのように感じていますか。[1つに○] 【在宅介護実態調査】(P154)



介護保険サービスを利用してよかったと思うことは何ですか。

【在宅介護実態調査】(P155)

□ 「満足している」が55.3%で最も多く、「大変満足している」(8.9%)とあわせると、満足している割合は6割を超えている。

□ 「やや不満である」(7.1%)と「不満である」(2.4%)を合わせた不満である割合は1割を下回っている。

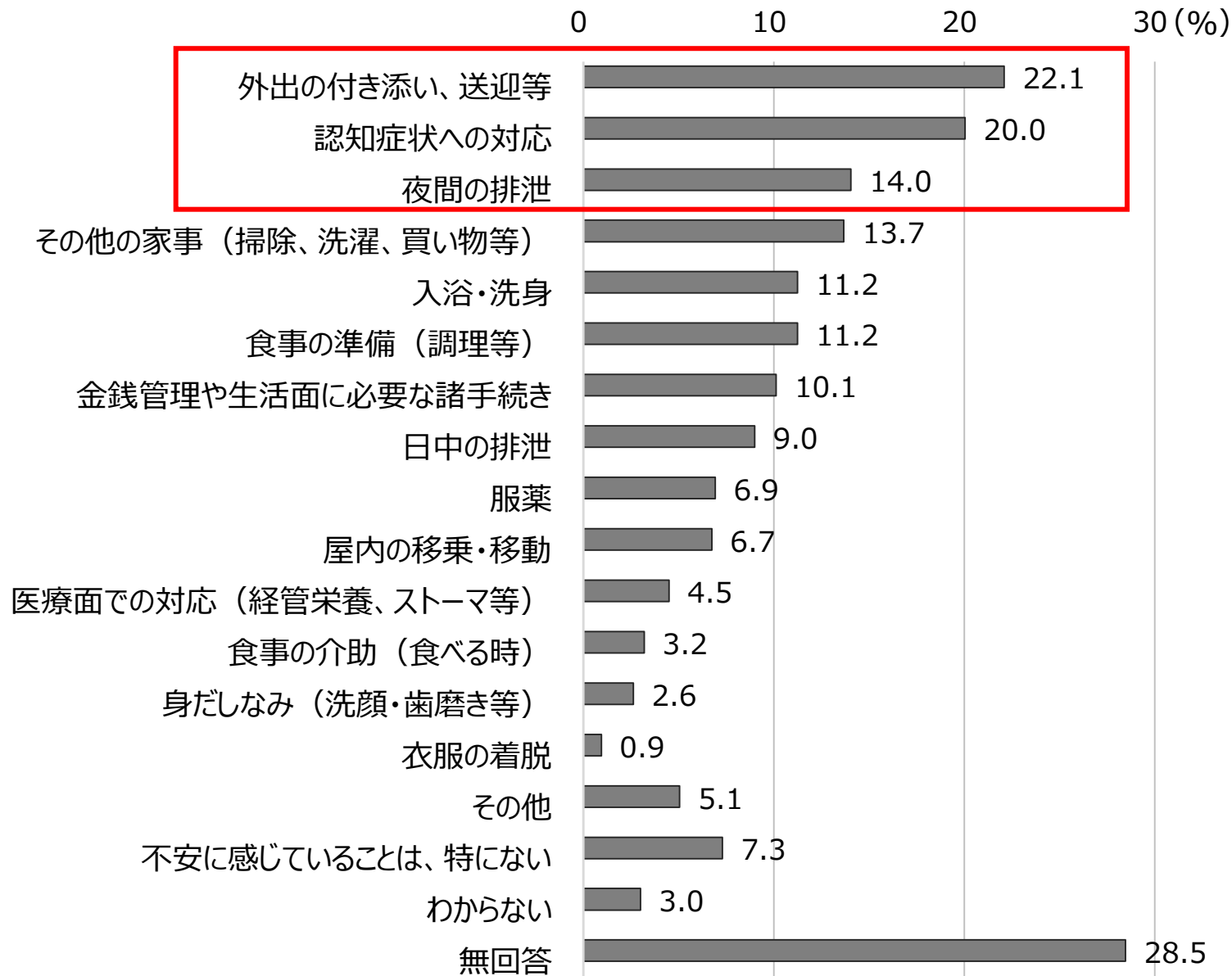
□ 介護保険サービスを利用してよかったと思うことの上位3位は、

「人と話す機会が増えた」(51.3%)

「生活が規則正しくなった」(30.7%)

「外出の機会が増えた」(25.5%)

介護者の方が不安に感じる介護等



問：現在の生活を継続していくにあたって、
主な介護者の方が不安に感じる介護等は
どれですか。[〇は3つまで]
【在宅介護実態調査】(P182)

□ 現在の生活を継続していくにあたって、
主な介護者の方が不安に感じる介護
等の上位3位は、

「外出の付き添い、送迎等」
「認知症状への対応」
「夜間の排泄」

認知症の本人が日常生活の中で困っていること

問：[認知症と診断されている方に伺います。] 現在、ご本人が日常生活の中で困っていることはどれですか。

[あてはまるものすべてに○]

【在宅介護実態調査】(P130)

		金銭管理や生活面に必要な 諸手続き	(掃除、洗濯、買い物等) その他の家事	食事の準備(調理等)	外出	服薬	入浴・洗身	精神的な安定	夜間の排泄	衣服の着脱	日中の排泄	(%)
全体(n=914)		58.7	54.7	52.7	52.2	48.3	45.3	41.8	35.3	34.8	32.8	31.8
世帯 類型別	単身世帯(n=220)	56.5	67.4	67.4	60.9	41.3	47.8	43.5	28.3	34.8	26.1	32.6
	夫婦のみ世帯(n=275)	51.6	50.0	48.4	41.9	50.0	51.6	45.2	43.5	45.2	38.7	32.3
	その他(n=389)	65.2	51.7	48.3	56.2	51.7	39.3	39.3	32.6	25.8	30.3	31.5
要介 護度 別	要支援1～2(n=284)	42.1	52.6	47.4	52.6	21.1	31.6	57.9	21.1	15.8	15.8	10.5
	要介護1～2(n=347)	67.0	54.9	49.5	53.8	53.8	33.0	46.2	16.5	20.9	13.2	24.2
	要介護3～5(n=226)	56.1	57.3	59.8	52.4	52.4	65.9	37.8	61.0	56.1	61.0	46.3

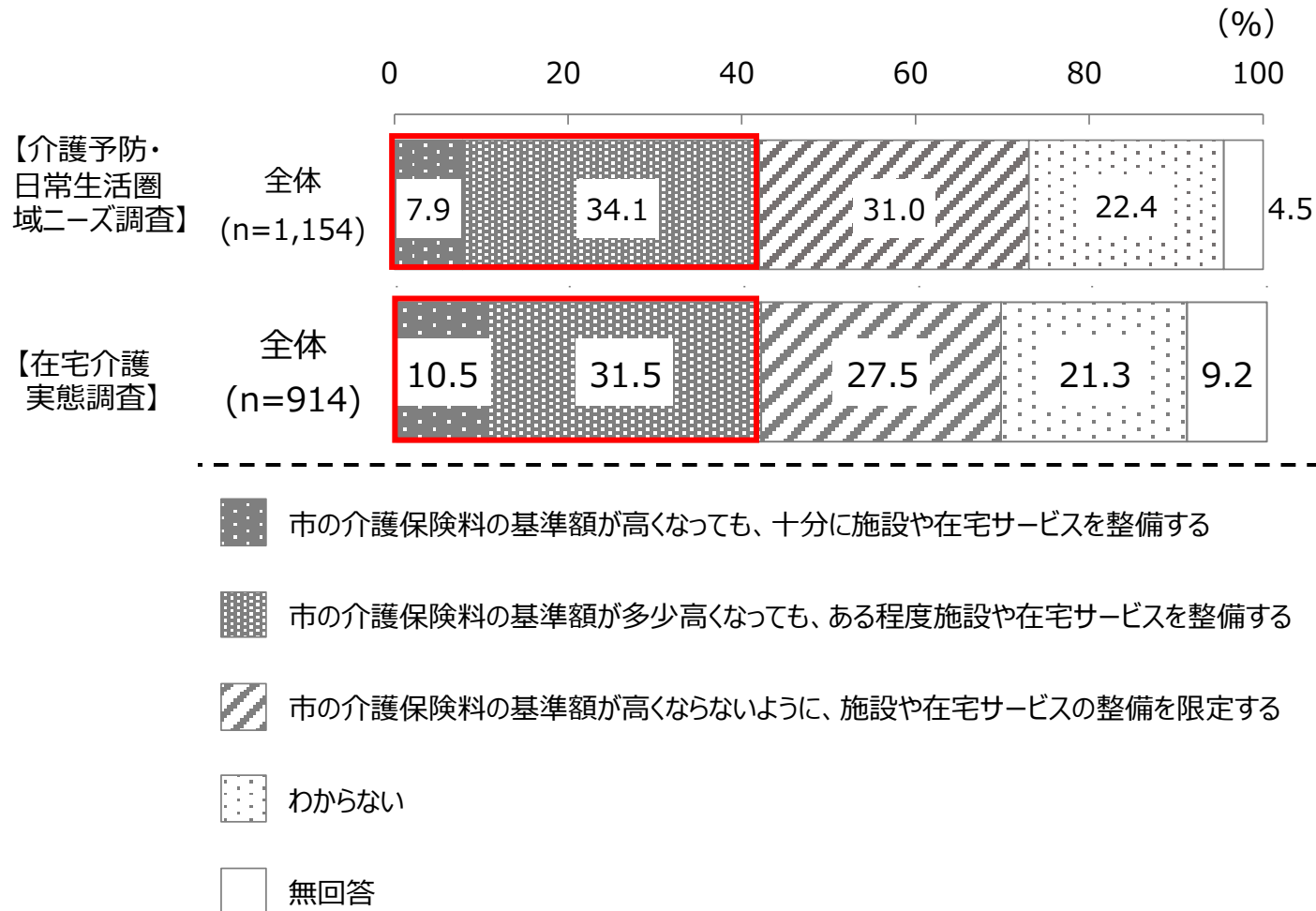
□ 単身世帯の認知症の本人で、6割以上が日常生活で困っていることは、「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「外出」

□ 要介護3～5の認知症の本人で、6割以上が日常生活で困っていることは、「入浴・洗身」「夜間の排泄」「日中の排泄」

介護保険料と介護保険サービス整備の程度

問：介護保険制度では、保険料と介護保険サービスの利用については関連がありますが、あなたの考えに最も近いのはどれですか。
[1 つに〇]

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】（P93） 、【在宅介護実態調査】（P166）



□ 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と「在宅介護実態調査」の両方において、

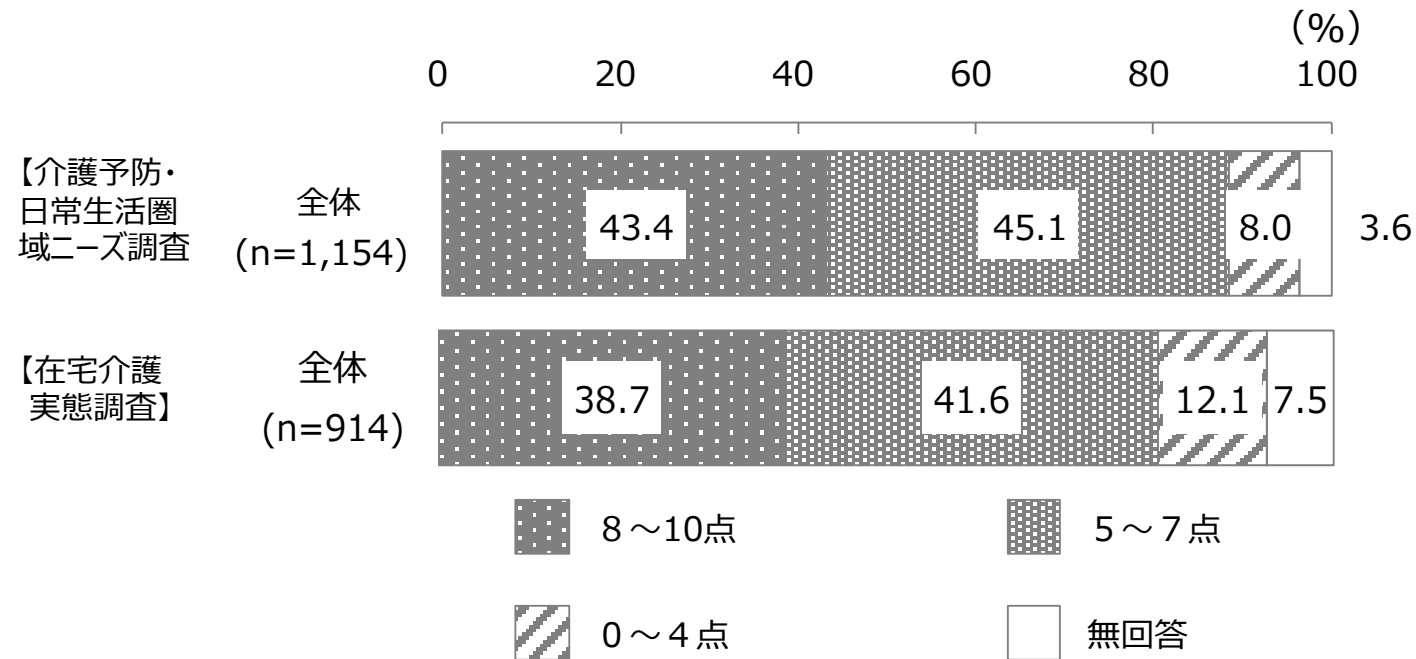
市の介護保険料の基準額が（多少）高くなっても、（十分に/ある程度）施設や在宅サービスを整備してほしいと考える人は、4割を超えている。

□ 反対に、介護保険料の基準額が高くならないように、整備を限定してほしいと考える人は、約3割。

主観的幸福感

問：あなたは、現在どの程度幸せですか。 [1 つに〇] （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点）

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】（P72） 、【在宅介護実態調査】（P134）



□ 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、平均値である5点以上と回答した人が9割近い。

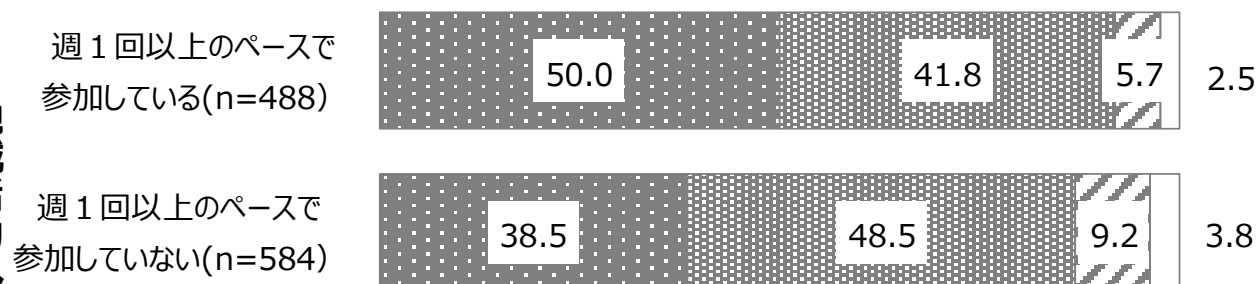
⇒平均点は7.0点

□ 「在宅介護実態調査」では、平均値である5点以上と回答した人が8割を超えている。

⇒平均点は6.7点

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

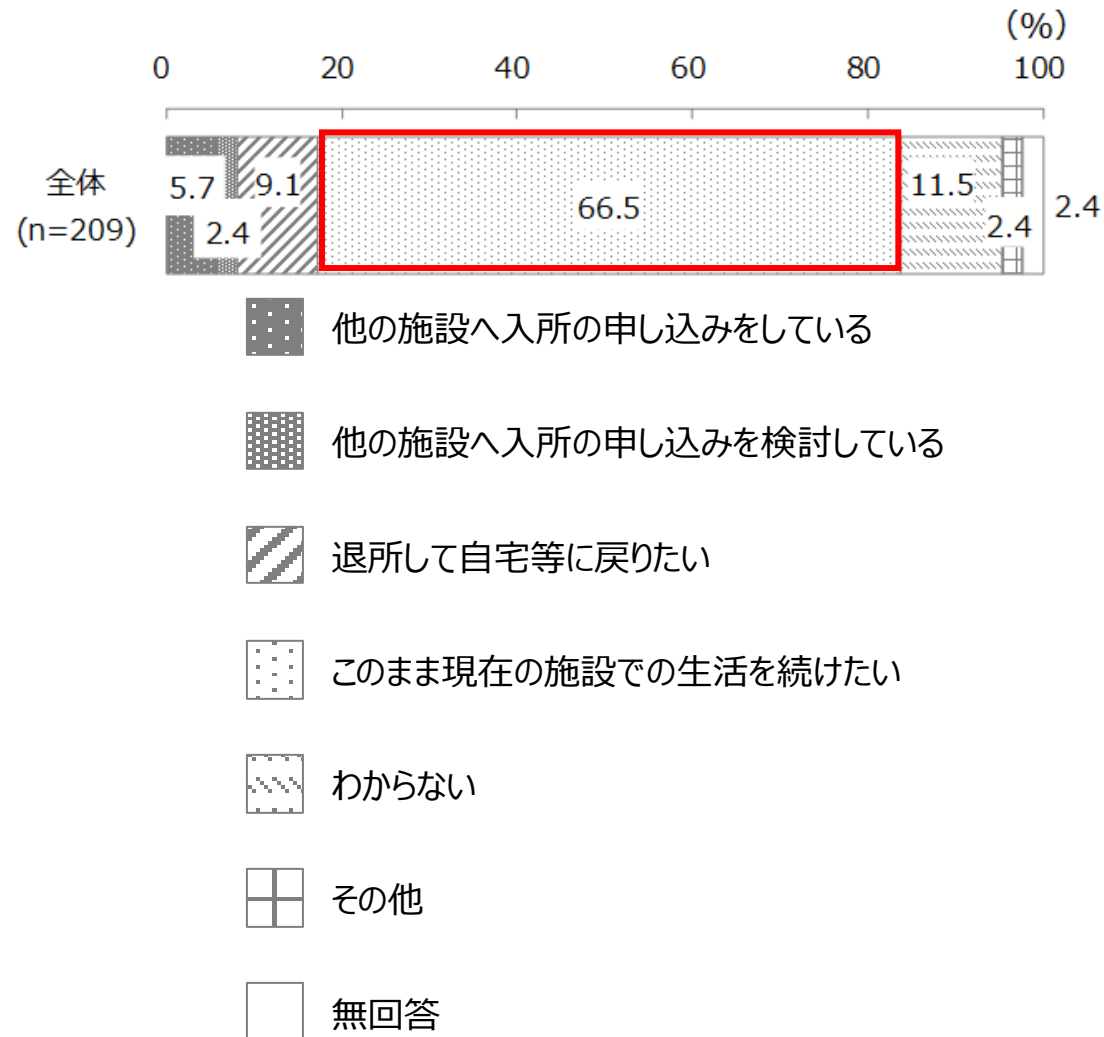
の参加別
地域活動へ



□ 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、地域活動に週1回以上のペースで参加している人の方が、主観的幸福感が高い傾向にある。

施設サービス利用者の今後の意向

問：施設から退所や他の施設への入所を希望していますか。 [1 つに〇] 【施設サービス利用者調査】(P236)



□ 「このまま現在の施設での生活を続けたい」が66.5%で最も多く、「退所して自宅等に戻りたい」は9.1%。



「退所して自宅等に戻りたい」と回答した人の
その主な理由の上位3位は、

「住み慣れた自宅で過ごしたいから」(78.9%)

「家族と一緒に暮らしたいから」(31.6%)

「費用負担を軽くしたいから」(31.6%)

高齢者が、今後行政に期待すること

問：高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待しますか。〔〇は3つまで〕

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】（P94）、【在宅介護実態調査】（P168）、【施設サービス利用者調査】（P241）

- 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と「在宅介護実態調査」では、在宅生活を継続していけるよう、介護保険サービスと介護する家族への支援の充実を求める意見が上位3位以内にランクイン。
- 「施設サービス利用者調査」では、施設に入所して受ける介護保険サービスの充実が第1位。

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査	施設サービス利用者調査
第1位	自宅で受ける介護保険サービスの充実	自宅で受ける介護保険サービスの充実	施設に入所して受ける介護保険サービスの充実
第2位	在宅で介護する家族に対する支援の充実	緊急時や災害時の対策	在宅で介護する家族に対する支援の充実
第3位	施設に入所して受ける介護保険サービスの充実	在宅で介護する家族に対する支援の充実	緊急時や災害時の対策

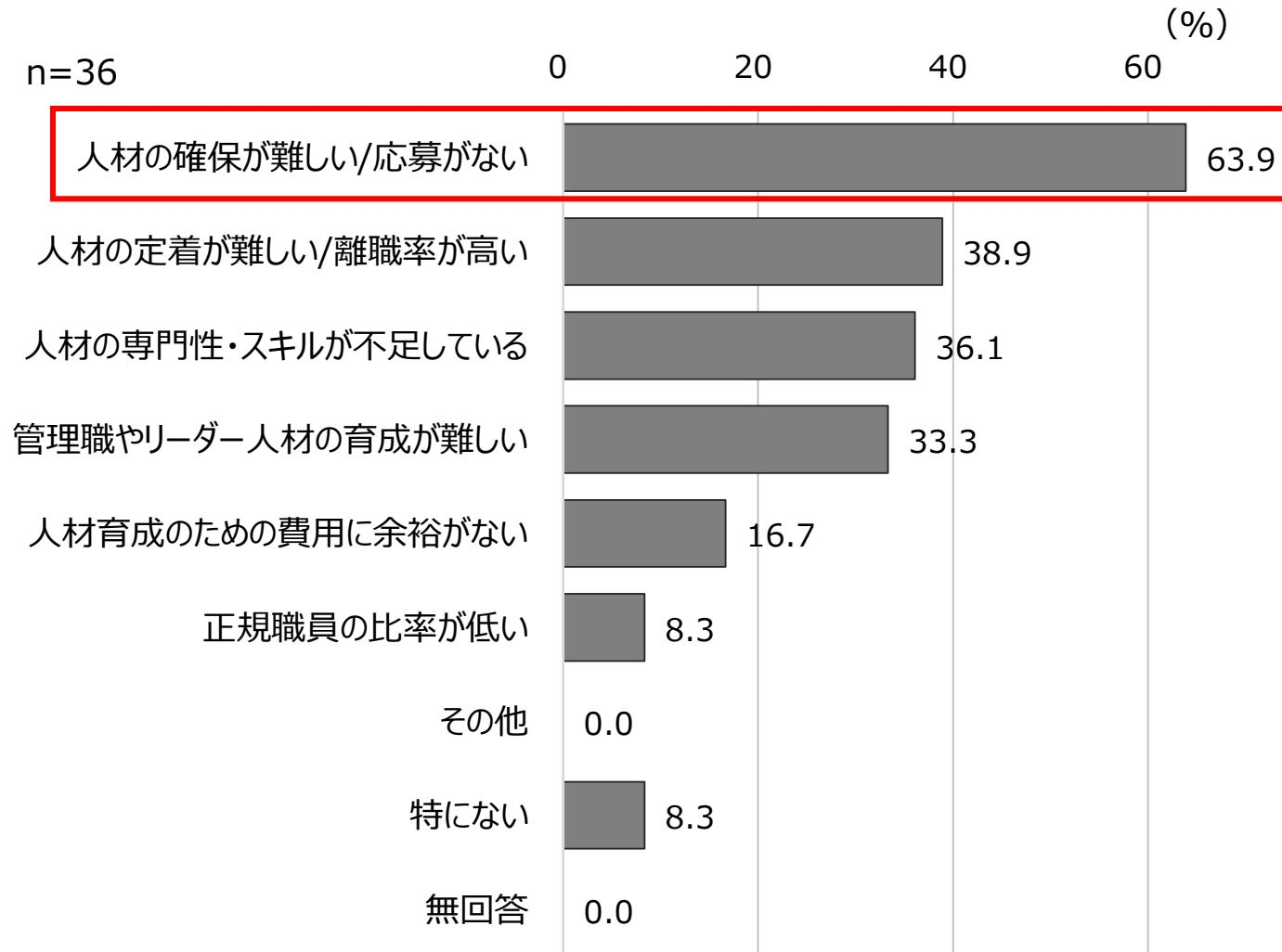
【他の選択肢】

デイサービスなど通所サービスの充実、介護問題に関する相談体制の充実、外出を支援する事業の充実、健康づくりや生きがいづくり事業の充実、ボランティアの育成やボランティア活動への支援、その他

サービス提供事業者の介護人材に関する困り事

問：介護人材の採用・育成・定着等に関して困っていることは何ですか。 [あてはまるものすべてに○]

【サービス提供事業者調査】(P258)



□ 「人材の確保が難しい/応募がない」が63.9%で最も多い。

□ 次に、3割を超えている意見は、

「人材の定着が難しい/離職率が高い」
「人材の専門性・スキルが不足している」
「管理職やリーダー人材の育成が難しい」

事業所によるサービスの提供状況・今後の事業展開の予定

問：貴事業所で実施しているサービスは、ニーズに対応できていますか。また、今後の事業展開の予定をお答えください。

【サービス提供事業者調査】(P254)

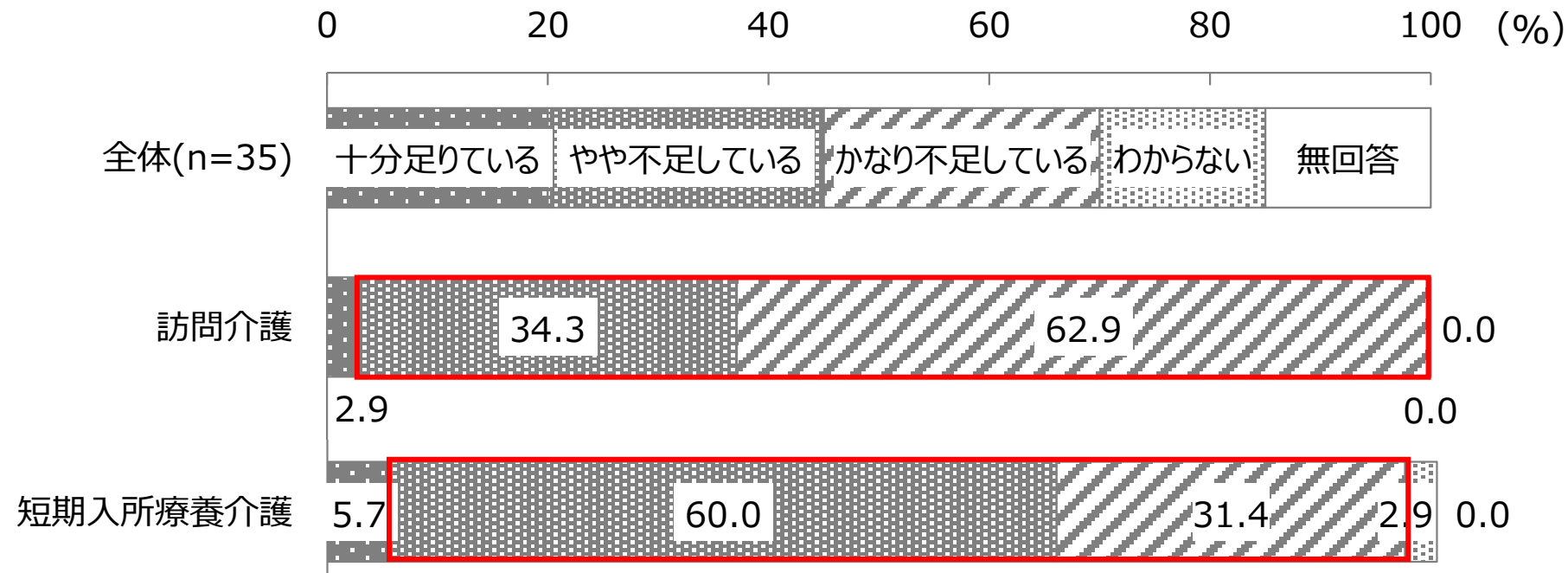
- 回答のあった事業所のうち、最低 1 事業所が実施しているサービスは全部で45サービス。
そのうち、「断ることがある」との回答が 1 件以上あったサービスは以下の 9 つ。
- 断ることがあり、ニーズに対応できていない一方で、事業を縮小していくと回答のあったサービスが 4 つある。

「断ることがある」サービス名	対応できている	断ることがある	規模拡大	現状維持	規模縮小
訪問介護[居宅サービス]	6	3	2	6	1
居宅介護支援	6	2	0	6	0
訪問看護	4	1	2	3	0
介護予防訪問看護	3	1	2	2	0
認知症対応型通所介護（※無回答あり）	1	1	1	0	0
介護予防認知症対応型通所介護（※無回答あり）	0	1	0	0	0
介護予防支援	2	1	0	2	1
介護老人福祉施設	2	1	0	2	1
訪問介護[介護予防・日常生活支援総合事業]	4	1	2	2	1

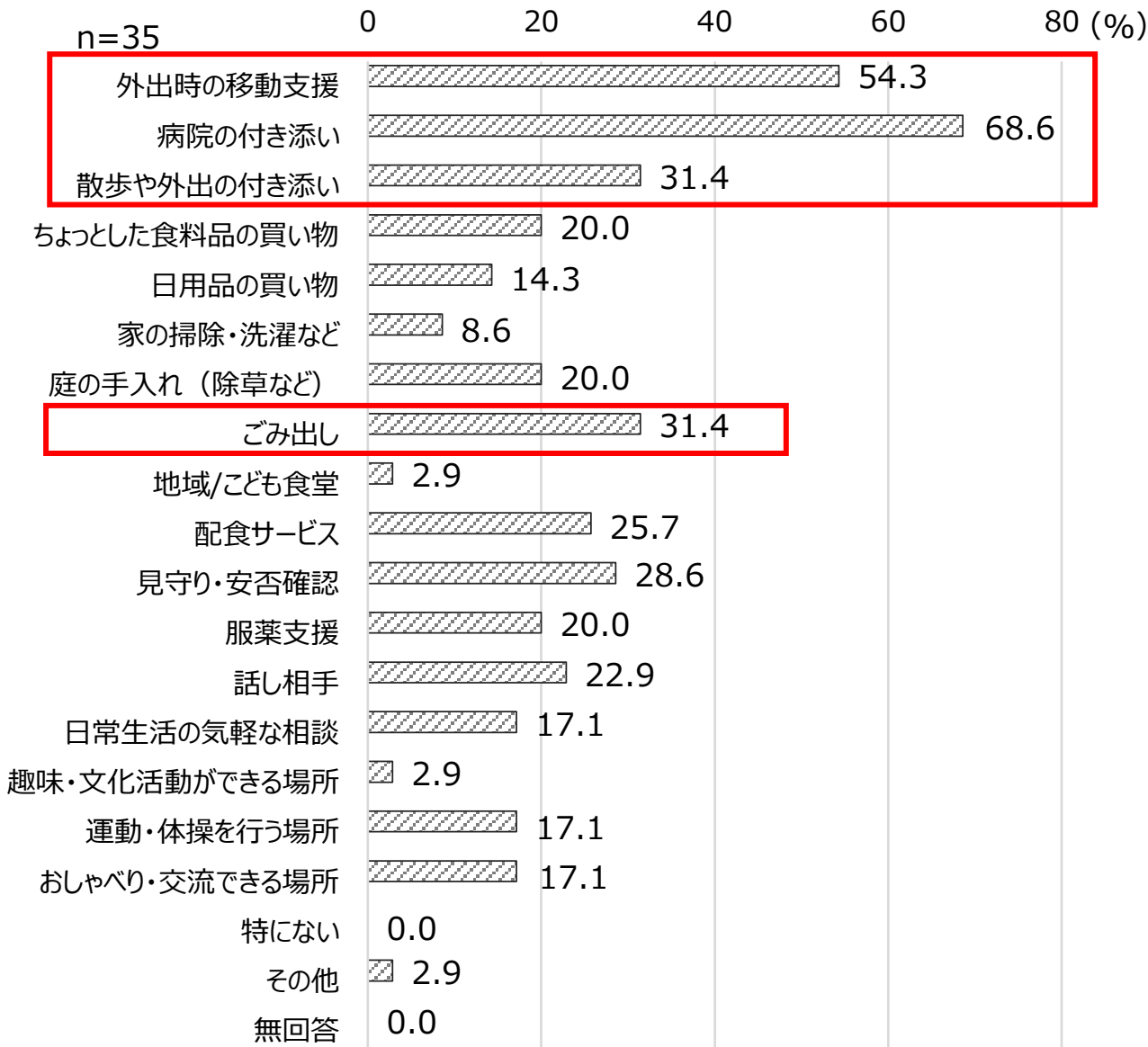
サービスの供給バランスに対するケアマネの評価

問：白岡市における介護保険サービス事業は、利用者の需要（希望）に対して足りていると思いますか。[1つに○]
【ケアマネジャー調査】(P276)

- 52のサービスのうち、「かなり不足している」の割合が5割を超えて多かったのは、「訪問介護[居宅サービス]」で62.9%。
- 「かなり不足している」と「やや不足している」を合わせて9割を超えて多かったのは、「訪問介護[居宅サービス]」（97.1%）と「短期入所療養介護」（91.4%）



ケアマネを感じる、地域に不足しているがあると助かる地域資源



問：介護保険サービスや福祉サービス以外で、要介護者及び介護者の生活を支えるための1～19の手助け・地域資源のうち、現在、地域に不足しているが、あると助かると思うものについて、主なものを5つ以内で選んでください。 【ケアマネジャー調査】(P280)

□ ケアマネジャーが、地域に不足しているが、あると助かると思う地域資源の上位3位は、

「病院の付き添い」
「外出時の移動支援」
「散歩や外出の付き添い」
「ごみ出し」

⇒「移動支援」「付き添い支援」にニーズがある